

2012-2013年度 第2回クラブ国際奉仕委員長会議 報告

国際奉仕委員会 副委員長
栗原 大 (大阪フレンドRC)

日時:2013年3月16日(土)14:00~16:00
会場:業業年金会館 601号室

2012~2013年度 第2回クラブ国際奉仕委員長会議を高島凱夫G、岩田宙造PG、福家宏GE、6名のG補佐、7名のG補佐E及び各クラブの現・次期国際奉仕委員長約140名の参加を頂き開催いたしました。

- 高島凱夫G 開会のご挨拶
次年度から始まるFVPの心得、そしてリスボン国際大会への177名余の参加予定に対し、感謝の言葉を頂きました。
- 地区国際奉仕委員会 小林哲委員長 挨拶と事業報告
事業報告では各クラブの活発な国際奉仕活動に感謝し、金額は小さくても姉妹クラブや友好クラブと協同でクラブ独自の人道的奉仕事業をどのように達成するのが、国際奉仕の原点であるが、規模が大きい事業には財団補助金を積極的に利用されたい。今年度MGに関しては申請した総てのクラブの事業が承認され、無事クロージングに向かえるように地区委員共々サポートする。また 旧WCSの名称は再度地区研修委員会で検討し、近日中に各クラブへ変更の報告を致しますのでご注意ください。「世界協同奉仕基金」は今年度6月末に国際プロジェクトが無いクラブにつきましては請求させていただく事をご了承ください。今年度も残りわずかですが、まだまだ国際奉仕活動



- ができる期間はございます。またリスボン国際大会への出席もまだ間に合います。最後に、各クラブの益々の活発なる活動を願う旨の挨拶がありました。
- 地区財団FVP委員会 四宮孝郎副委員長
国際奉仕と地区補助金(DG)について。新しい制度により窓口が一つになります。難しい仕組みではなく地区やクラブが裁量権を持って補助金を使えるようになっていきますとお話されました。
 - 地区財団FVP委員会 宮里唯子委員長
国際奉仕とグローバル補助金について。グローバル補助金の詳細な申請手順などを含め、授与と受諾の条件2013年度1月版が最新のものになる件など次年度の国際奉仕委員会にとって実践的な内容をお話いただきました。
 - 福家 宏GE 講評
RIからの3つの戦略を説明して頂き、RIが変革の時に向け、そして私たちの一人一人がR財団へ預けた寄付金の、各クラブでの有効活用を推進されました。
 - 岩田宙造PG 閉会の挨拶
補助金を有効活用していただきさらなるクラブの発展へと結びつけて頂きたいと話されました。

*会議についてご質問等がございましたら、地区の方へメール等で頂けます様お願いいたします。